

西東京市 図書館だより

平成16年(2004年)4月5日

第13号

中央図書館

西東京市南町5-6-11
(0424)65-0823

下保谷図書館

西東京市下保谷4-3-18
(0424)21-3060

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48
(0424)65-9825

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2
(0424)21-4545

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1
(0424)64-8240

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1
(0424)24-0264

編集・発行：西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.tokyo.jp>

平成16年2月21日(土)午前10時半よりコールド田無の多目的ホールにて西東京市中央図書館主催による文化講演会が実施されました。これは、平成15年6月より開始した「絵本と子育て事業」の記念講演として、絵本の研究を長年続けていらつしやる関根紀子先生を迎え、『こころをはぐくむ絵本の力』と題してお話いただいたものです。現在子育て中の方や、絵本に興味のある方々などを中心に約40名の参



絵本と子育て事業文化講演会 『こころをはぐくむ絵本の力』

関根紀子先生をお迎えして

加がありました。
以下抜粋ながら、当日の講演をご紹介します。

子どもを育てるといのは、とても大変なことです。初めてのお子さんだったらなおのこと。「かわいいでしょう?」と言われて、「はい」と返事をしながらも、「どうしよう」という不安の方が大きかったです。赤ちゃんのいろいろな声や表情を受けとめて子育てを楽しむゆとりはなかったというのが実感でした。《中略》

お母さんが、子どもが起きてから寝るまでの間に子どもにかけてあげる言葉で一番多いのは何だと思われるますか? 「早く」です。「早く」という言葉を口癖に、まわりの子どもと比較し比較されながら、夢中で子育てしてきませんでしたか。私の体験ですが、一歳半健診で「あらあ。一つしか喋らないの? お母さんの努力が足りないんじゃないの?」と保健婦さんに言われ、落ち込んで帰ってきた日のこと。子育ての経験がある方なら、誰でも思い当たることだと思います。でも、できてしまえば何てことない。人より早くこれができなければ、大

人になれなかったんだらうかと、今振り返るとそんなことないと思います。《中略》

また、子どもに「ねえおかあさん、見て、来て」と言われた時、やっていることの手をとめて、ちゃんと見ることができませんでした。今思うと、その時に見たとしても1分か2分しか、かからなかったと思います。時間がなかったのではなく、気持ちの余裕がなかったのです。そんな余裕のない日々の中で、ちよつと肩の力を抜くことができ、自分がふつと楽になれるような時間がありました。それが、子どもに絵本を読んでもあげる時間でした。

親にとつてもほつとでき、子どもの側からも自分が大事にされていることを、全身で実感できる時間だったのではないかと思います。何か教えようと、ノルマのように読むのではなく、読んであげたいという気持ちで読んであげると、子どもの心の中にすつと入って気持ちに届きます。絵本は読んであげる人の思いを乗せて語られた時、読み手も聞き手も楽な気持ちで楽しんだ時、本当の意味で子どもの心を育む力を発揮するものです。

また、絵本を読むことは、子どもの耳から豊かな言葉を聞かせてあげるいいチャンスなのです。言葉の発達は、気持ちの発達、考える力の発達、何かを受けとめる姿勢の発達など、あら

★声の広報をお届けしています

お問い合わせの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館 ☎21-4545・柳沢図書館 ☎64-8240へお問い合わせを